学校番号	3001

令和２年度　数学科

教科	数学	科目	数学Ⅱ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	改訂版　新　高校の数学Ⅱ　（数研出版）						
副教材等	教科書学習ノート　数学Ⅱ　（数研出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・授業では課題に対してまず自ら考え、次に周りと協力して考えていく活動をします。
・授業ごとに簡単な自己評価を行い、日々の活動の振り返りを行います。
・問題集は定期考査ごとに提出してもらいます。日頃から少しずつでも進めて、定着に努めましょう。
・プリントは授業ごとに提出してもらいます。板書だけでなく、自分の考えや周りの人の考えも積極的に記録しましょう。

2　学習の到達目標

いろいろな式、図形と方程式、微分の考えについて習得する。
基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察し表現する能力を養うとともに、それらを活用する態度を身に付けることを目標とする。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b: 数学的な見方や考え方	c:数学的な技能	d:知識・理解
観点の趣旨	いろいろな式、図形と方程式、微分の考え方に関心を持つとともに、数学の良さを認識し、それらを事象の考察に活用しようとする。	事象を数学的に考察し表現したり、思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることなどを通して、いろいろな式、図形と方程式、微分における数学的な見方や考え方を身に付けている。	いろいろな式、図形と方程式、微分において、事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。	いろいろな式、図形と方程式、微分における基本的な概念、原理・法則などを体系的に理解し、知識を身に付けている。
評価方法	プリント 確認テスト 観察等	確認テスト 定期テスト プリント 観察等	確認テスト 定期テスト プリント 観察等	確認テスト 定期テスト プリント 観察等

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

<table>
<tr><th rowspan="2">学期</th><th rowspan="2">単元名</th><th rowspan="2">学習内容</th><th colspan="4">主な評価の観点</th><th rowspan="2">単元(題材)の評価規準</th><th rowspan="2">評価方法</th></tr>
<tr><th>a</th><th>b</th><th>c</th><th>d</th></tr>
<tr><td rowspan="3">1学期</td><td rowspan="3">複素数と方程式</td><td>式の計算</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td rowspan="3">a:数の体系を拡張する過程や数の四則演算に関心を持ち、具体的な事象の考察に式の展開や因数分解を活用しようとしている。
b:目的に応じて的確に式を変形する方法を考察することができ、また、事象に対してどの定理を用いればよいのか考察できる。
c:見通しをもって式を扱うことができる。複素数が含まれている二次方程式や、高次方程式を解くことができる。
d:乗法公式や因数分解の公式、剰余の定理や因数定理を理解している。</td><td rowspan="6">確認テスト
定期テスト
プリント
観察等</td></tr>
<tr><td>複素数と二次方程式</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td></td></tr>
<tr><td>高次方程式</td><td></td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr>
<tr><td rowspan="3">2学期</td><td rowspan="3">図形と方程式</td><td>点と座標</td><td>○</td><td></td><td>○</td><td></td><td rowspan="3">a:数直線や座標平面上に事象を対応させることによって、課題を解決しようとしている。
b:直線の方程式や縁の方程式について、意味を考察することができる。
c:直線の方程式や縁の方程式を求めることができる。また、内分点・外分点の座標を求めることができる。
d:直線の方程式と円の方程式の意味を理解している。座標平面における直線や円の扱い方に関して、基礎的な知識が身についている。</td></tr>
<tr><td>直線の方程式</td><td></td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr>
<tr><td>円の方程式</td><td></td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr>
</table>

3学期	微分と積分	微分係数と導関数	○	○	○	○	a:微分によって求まる関数に興味を持ち、関数の値の変化に活用しようとしている。 b:導関数を用いて複雑な関数について考察できる。 c:微分を行うことで３次関数などのグラフをかくことができる。 d:具体的な事象についての応用法を理解している。	

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:数学的な見方や考え方
　　c:数学的な技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。